

SMART GARAGE

ガレージKIT

太管

取付け手順説明書

Ver.1.1



株式会社システムデザイン

目次

1. はじめに（※必ずお読みください）	P2
1-1. 禁止事項に関して	P4
1-2. 製品保証	P6
1-3. 電波法に関して	P6
2. ガレージKIT取付け時の準備物	P7
3. 同梱品一覧	P7
4. ガレージKIT取付け手順	P11
4-1. 貫通穴を開けるための準備	P11
4-2. 貫通穴の位置決め	P13
4-3. 貫通穴を開けるためのガイドの作成	P17
4-4. シャフトへのモーター取付け	P20
4-5. 内歯ギア・支持プレート・ピニオンギアの取付け	P22
5. モーター線の通し方	P23
6. スイッチボックスの組み立て方	P25
7. モーター線と操作基板の接続方法	P28
8. スイッチボックスの設置	P30
9. スイッチボックスの操作説明	P30

1. はじめに（※必ずお読みください）

この度は、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

ガレージKITは手動で開閉するガレージのシャッターをDIYで電動化するKITです。

ガレージKITの設置や操作を開始する前に、この取付け手順説明書を

よくお読みいただきますようお願いいたします。

- ・ガレージKITはお使いのスマートフォンやタブレットのBluetooth機能を利用します。
お手持ちのデバイスがBluetoothの規格ver4.0以上に対応しているかご確認ください。
- ・現在の対応状況は下記のとおりです。
Bluetooth規格：ver4.0以上
Android：OSバージョン 8.0以降
iPhone：iOS 12以降
iPad：iPad OS 12以降
iPad mini：全機種
- ・本説明書に添付しておりますQRコードは設定後も大切に保管してください。
QRコードを紛失した場合、再発行については弊社まで問い合わせをお願いします。
QRコードの再発行は有料となります。
- ・本製品を使用するにはスマートフォンにアプリ「Smart Garage」をインストールする必要があります。
iOS端末をご使用の方は、App Storeからダウンロードしてください。
Android端末をご使用の方は、Google Playからダウンロードしてください。
※iOS端末でApple Watchをご利用される場合は「Smart Garage2」をインストールしてください。

iOS版アプリの
インストールはコチラから



Android版アプリの
インストールはコチラから



ガレージKIT設置後は必ずSmart Garageアプリを使用した調整作業を行ってください。

初期状態のまま使用すると、上手く動作を行うことが出来ません。

※商品のデザイン、仕様、外観、価格等は予告なく変更する場合や取り扱いを中止する場合がございますのでご了承ください。

<警告>

下記の警告事項には必ず従ってください。

これらの指示に従わない場合、人身事故や重大な事故の危険性があります。

- ・当キットは市販のシャッターに使用することを前提として設計されております。
その他の用途には使用しないでください。
- ・脚立を使用する場合は、安定した場所で作業を行ってください。
- ・高所作業（おおむね足元から1 m以上の高さ）が必要な場合は
墜落予防のために足場を組んでください。
- ・当キットの分解や改造は絶対に行わないでください。
これによって故障やけがの原因になる可能性があります。

<注意>

下記の注意事項には必ず従ってください。

これらの指示に従わない場合、人身事故や重大な事故の危険性があります。

- ・シャッターを操作する際は、必ず既存の鍵を開錠してご使用ください。
鍵を施錠したまま操作すると故障の原因となります。
- ・シャッターが作動している最中には、指や手を近づけないようお願いいたします。
ケガをする恐れがありますので、ご注意ください。
- ・シャッターの稼働部には物を置かないでください。
絡まることで故障の原因となります。
- ・常時シャッターを使用しない場合でも、少なくとも1か月に2～3回は開閉してください。
長期間動かさないと、スムーズな作動ができなくなる恐れがあります。

1-1. 禁止事項に関して

- ・シャッター本体の巻取りシャフトを固定している両端の固定ボルトに関しては絶対に左右を同時に外さないでください。
同時に外すとバネが勢いよく回転し、人身事故や重大な事故の危険性があります。
※下図赤丸で図示している箇所です。



シャッターのスラットは、左側・右側・中央の合計3箇所のプーリーと連結されています。

ガレージKITの取り付けの際には

- ・中央のプーリーと吊元
- ・シャッター本体の巻取りシャフトを固定している
両端にある固定ボルトのうちどちらか1本

上記2箇所のみを外してください。

両サイドのプーリーと吊元は絶対に外さないでください。

同時に外すとバネが勢いよく回転し、人身事故や重大な事故の危険性があります。



1-2. 製品保証

製品の分解および不適切な使用を行った場合、製品保証は無効となります。
また、ケガや取付け時の製品の破損に対する補償は承っておりません。

詳細は弊社ホームページの「スマートガレージKIT保証規定」をご参照ください。

1-3. 電波法に関して

本製品は国内電波法認証取得済みです。日本国内でのみ使用できます。
本製品を分解、改造しないで下さい。電波法で処罰される場合があります。

2. ガレージKIT取付け時の準備物

- ・電動ドリル
- ・ラチェットハンドルとソケットやインパクトドライバー等の六角ボルトを締め付けられる工具
- ・プラスドライバー
- ・プラスチックハンマー
- ・ビニールテープ（白色を推奨します）
- ・軍手
- ・スパナ（小型のものを推奨します）
- ・ヘルメット
- ・ヘッドライト
- ・3.5m以上測定できるコンベックス
- ・ハサミまたはニッパー
- ・脚立

※上記は取付けに必要な、必要最低限の準備物です。

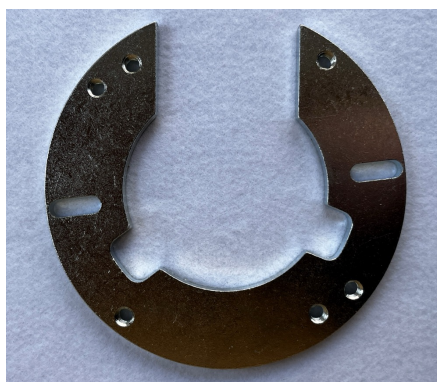
その他、お客様にて取付けに必要なと思われるものをご準備ください。

3. 同梱品一覧

1. モーター



2. 支持プレート



3. 内歯ギア



4. ブラケット（モーター固定側・ピニオンギア側）



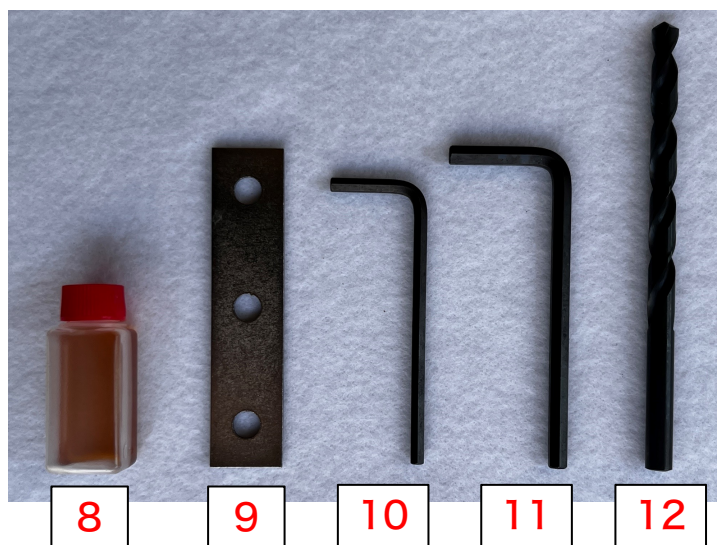
5. ピニオンギア

6. ピニオンギア用シャフト（L=46mm）

7. ピニオンギア固定用M6 止めネジ



8. 切削油
9. 穴あけ用ガイド
10. 六角レンチ 3mm：止めネジ締め付け用
11. 特拵レンチ 4mm：内歯ギア締め付け用
12. 貫通穴用ドリル刃 6mm



13. ブラケット組付け用スペーサー×2 (L=42.5mm)
14. M6×55ボルト×2 (ブラケット固定用、首下長さ：55mm)
15. M6×55ボルト×1 (ブラケット固定用、ネジ山一部のみ、首下長さ：55mm)
16. M6×80ボルト×2 (貫通穴あけガイド用、首下長さ：80mm)
17. M6ナット×5
18. M4なべネジ×4 (モーター固定用、スプリングワッシャー付き)
19. M6×20ボルト×2 (支持プレート固定用、首下長さ：20mm)



20. 配線通し用針金



21. 配線通し穴バリ取り用サンドペーパー

22. 配線保護用ステンレステープ



23. スイッチプレート

24. スイッチハンドル×2

25. スイッチボックス

26. 操作基板





4. ガレージKIT取付け手順

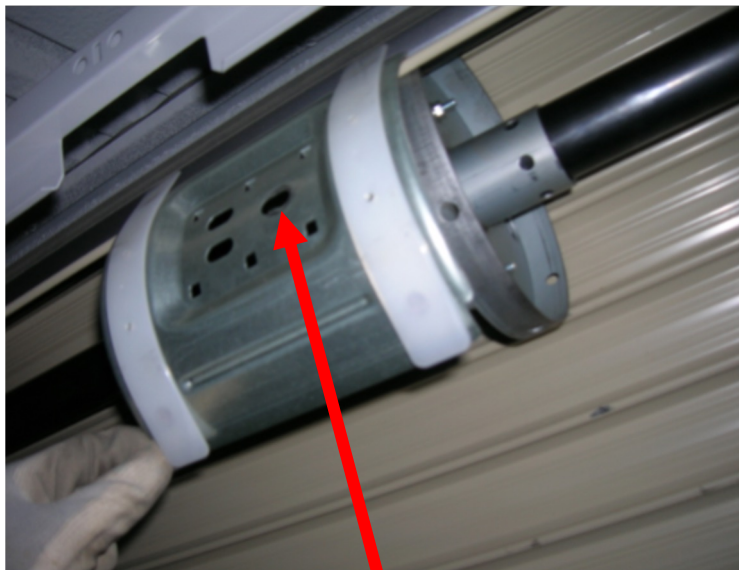
解説の際に使用しているシャッターは、株式会社稲葉製作所のガレージシリーズGARADIAのシャッターです。

お客様のシャッターとは一部形状が異なる場合がございますので、ご注意ください。

4-1. 貫通穴を開けるための準備

KITの取付けに必要なシャフトへの貫通穴を開けるための準備を行います。

手順1：中央のプーリーを覆っているプーリーカバーを外してください。

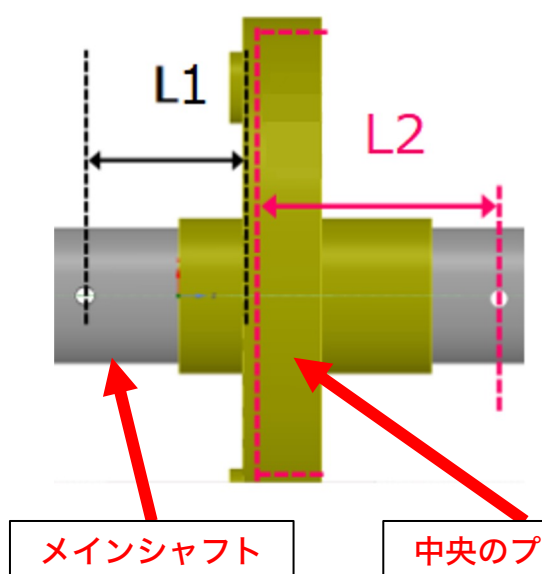


プーリーと吊元を固定しているボルトを外してください。
シャッターの重さで外しにくい場合は、少しシャッターを
持ち上げながら外していただくと、外しやすくなります。

手順2：貫通穴を開ける位置を確認します。

スペーサーオプションを使用する場合、貫通穴を開ける位置が異なります。

作業前に必ず下記内容をご確認ください。



※中央のプーリーの左右どちら側にも取付ける場合でも
プーリーの面から長さの計測をしてください。

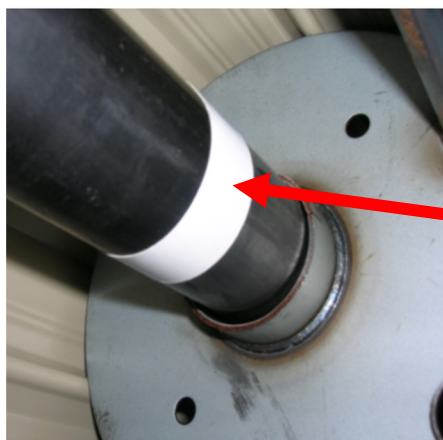
※中央のプーリーに緩衝バネが付いている場合は
緩衝バネが付いていない方に貫通穴を開けます。

スペーサーオプションの有無	貫通穴の位置（上図のL1またはL2）
スペーサーオプションなし	46.8±0.5mm
スペーサーオプション 2穴・4穴用ショートタイプ	71±0.5mm
スペーサーオプション 2穴用ロングタイプ	89.5±0.5mm

手順3：貫通穴を開ける位置が確認出来るように、ビニールテープを計測した位置のシャフトに
1周巻き付けてください。

※内歯ギアとピニオンギアの位置関係が動作を行う上で重要となりますので

貫通穴の位置は、貫通穴を開けられる前に実際に取りつけて調整していただくよう
お願いいたします。（4-2. 貫通穴の位置決めの手順7で説明します）



シャフトに巻き付けたビニールテープを基準
にして貫通穴を開けます。
ビニールテープの位置はしっかりと調整をし
てください。

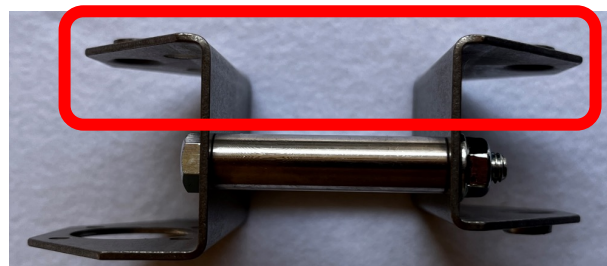
4-2. 貫通穴の位置決め

手順1：貫通穴を開ける位置を決めていただくために、一度それぞれの部品を仮組してください。

部品番号：4（ブラケット）・13（スペーサー）・14（ボルト）・17（ナット）を使用してブラケットを組み立てます。

組み立てたブラケットを、シャフトへ仮組します。

※この先の工程で穴位置の調整・確認を行うため完全に締め付けしないでください。



※ブラケットの向きに注意して下さい。
プーリー側の面がそろいます。

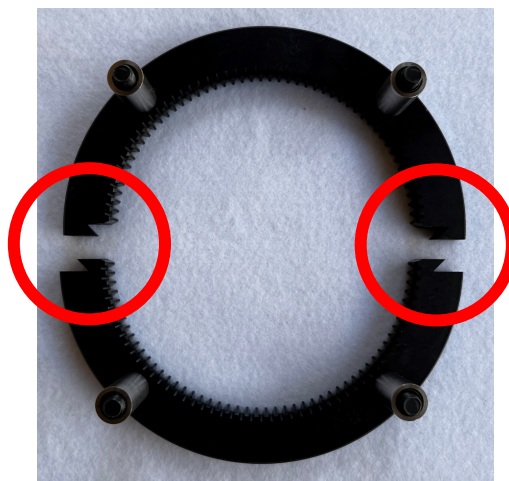
手順2：内歯ギアと支持プレートとの取付けを行います。

部品番号：2（支持プレート）・3（内歯ギア）を準備していただき、シャフトへ仮組します。

※下図のように、梱包時に一部組み立てております。

※内歯ギアには、下図の赤丸で図示しているように、内歯ギア同士のずれやギアが開くのを防止するための引っ掛け爪があります。

先端が尖っておりますので、ケガをしないようにご注意くださいながら作業してください。



手順3：中央のプーリーに部品番号：2（支持プレート）・3（内歯ギア）を取付けます。

手順2で仮組した部材を、シャッターの真下からシャフトに向かって差し込み
下図の矢印の向きに回転させてシャフトに引っ掛けてください。
重量がありますので、回転して落ちないようにご注意ください。



手順4：もう一方の内歯ギアを引っ掛け爪が合うように動かしながら支持プレートに取付けてください。

内歯ギアの引っ掛け爪を合わせたら、部品番号：5（ピニオンギア）を下図のように
内歯ギアとブラケットの間に置いてください。

その後、内歯ギアを部品番号：11（六角レンチ）で締め付けてください。

※貫通穴の位置を決めるため、内歯ギアはある程度締め付けてください。

ただし、後で一度取り外しますので、強く締めつけていただく必要はありません。



手順5：下図赤丸で図示しているプーリーの穴と支持プレートの長孔を
部品番号：17（ナット）・19（ボルト）を使用して、プーリーに固定します。
ボルトは支持プレート側から通してください。

※貫通穴の位置を決めるため、支持プレートはある程度締め付けてください。
ただし、後で一度取り外しますので、強く締めつけていただく必要はありません。



手順6：支持プレートの仮止めが行えたら、下図のように部品番号：6（シャフト）を手順4で置いた
ピニオンギアに通して、部品番号：7（止めネジ）で固定してください。

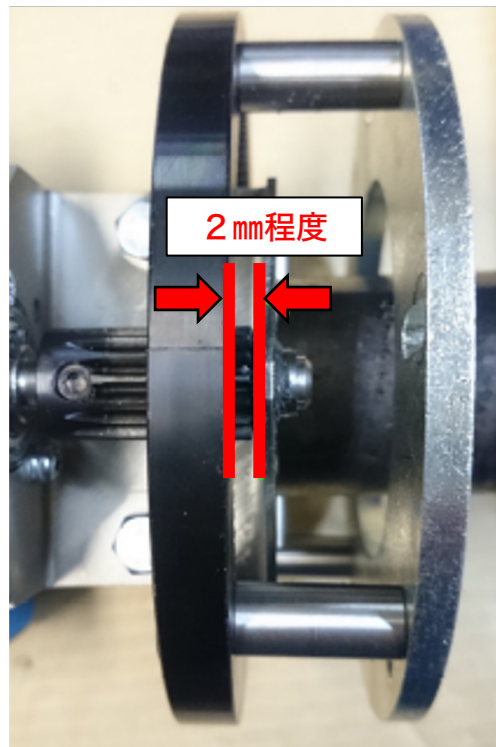
※この先の工程で一度取り外すため、完全に締め付けしないでください。

この際、シャフトが上手く通らない場合は内歯ギアや支持プレートが上手く
取付け出来ていない場合がございますので、取付け状況をご確認ください。



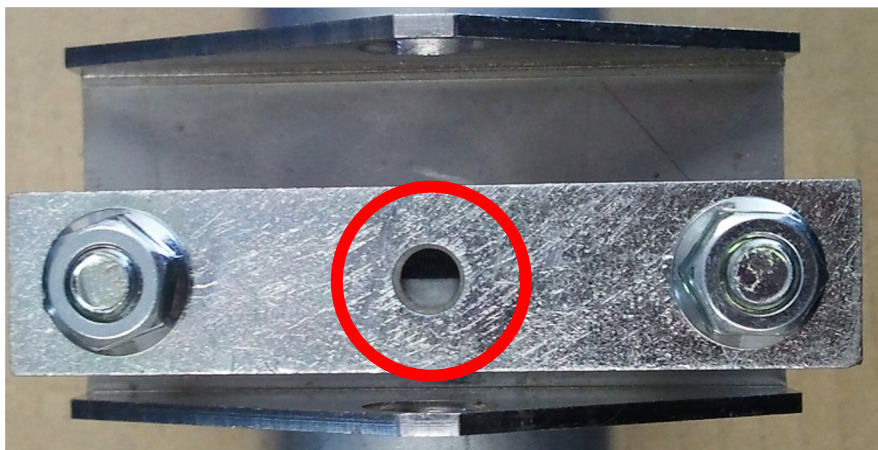
手順7：各種部材の仮止めを行えたら、貫通穴の位置確認を行います。

ブラケットを移動していただき、下図のように内歯ギアとブラケットの間隔が2mm程度になるように調整してください。



手順8：内歯ギアとブラケットの間隔を2mmに調整していただいた後、4-1の手順3でシャフトに巻いたビニールテープを基準にして、下図のようにブラケットの中央の穴で確認してください。ビニールテープが穴の中央に位置していることを確認してください。

この際、ビニールテープが穴の中央に位置していない場合、穴あけ位置がズれていますので再度ビニールテープを巻きなおして、貫通穴位置を調整してください。



手順9：貫通穴の調整が問題なく完了したら、一度仮止めしていただいた、内歯ギア、支持プレート、ブラケットを全て取り外してください。

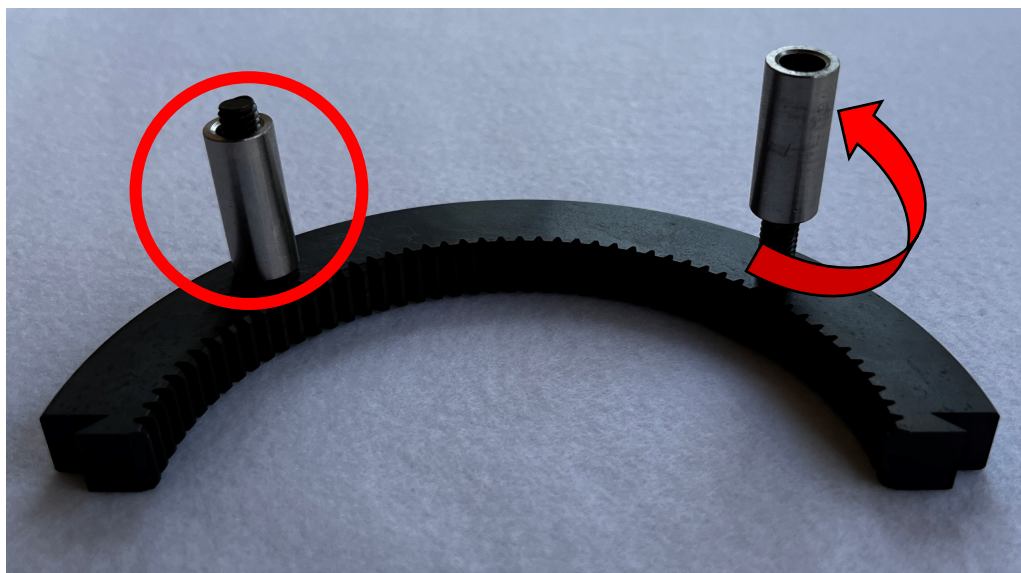
4-3. 貫通穴を開けるためのガイドの作成

手順1：部品番号：3（内歯ギア）に取付けてあるスペーサー（24mm）を2本取り外してください。

※貫通穴を開けていただいた後に、再度内歯ギアに取付けていただきます。

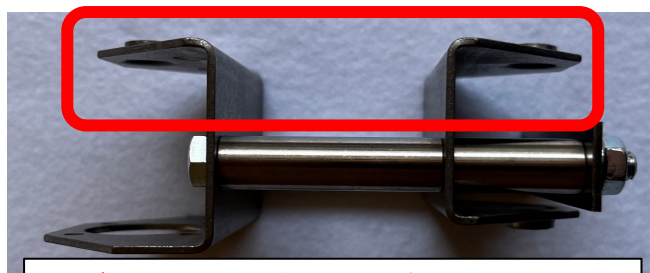
※ボルトとスペーサーの間に、落下防止のためのゴムを装着しているため
スペーサーを回転させながら取り外しをしていただくようお願いいたします。

※落下防止のゴムが外れてしまっても、動作には影響いたしませんので
外れた場合は、そのまま取付けを行ってください。



手順2：貫通穴を開けるためのガイドを作成します。

部品番号：4（ブラケット）・9（穴あけ用ガイド）・13（スペーサー）・16（ボルト）
17（ナット）と内歯ギアから外したスペーサー（24mm）を使用します。



※ブラケットの向きに注意して下さい。
プーリー側の面がそろいます。

手順3：組み立てていただいた貫通穴を開けるためのガイドをシャフトへ取り付けてください。

この際、4-2の手順8で調整をしたビニールテープを基準に
ブラケットの中央の穴で確認していただいた際にビニールテープが穴の中央に
位置しているかを確認してください。

手順4：貫通穴を開ける

部品番号：8（切削油）・12（ドリル刃）を使用して、貫通穴を開けてください。
組み立てた穴あけ用ガイドの穴に、垂直になるようにドリルを挿入して
シャフトの手前側と奥側に穴を開けてください。

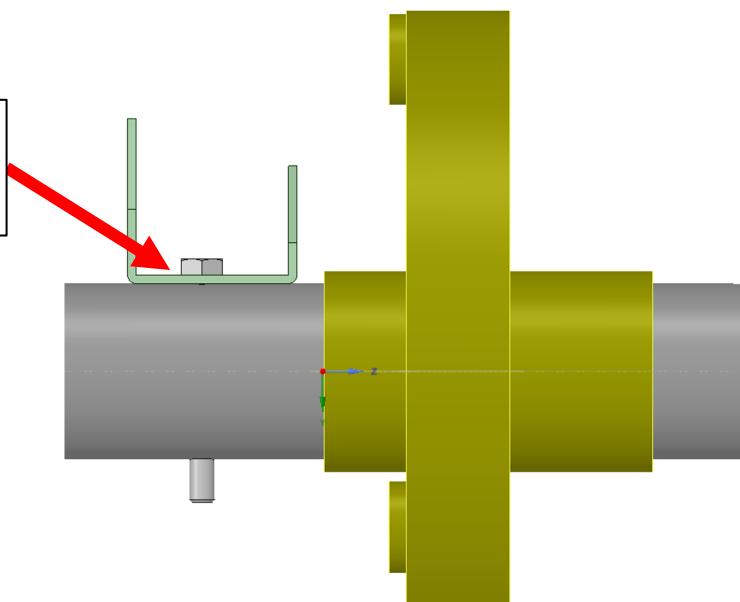
※貫通穴が斜めに開いた場合、上手く動作を行うことが出来ませんので
慎重に真っすぐ貫通穴を開けていただくようご注意ください。

※連続して穴あけを行うと、ドリル刃が熱を持ち、切削力が落ちてしまいますので
切削油を付けながら何回かに分けて、穴開けを行ってください。

※ドリル刃がシャフトに食い込んで動作が行えない場合は、シャフトから
少し離れた状態で回転させていただき、シャフトに当てていただくと上手く動作が行なえます。



貫通ボルトでブラケットを
取付けるための貫通穴を開
けております。



手順5：モーター配線用の穴を開けます。

手順4と同じ手順で、モーター線を通すための穴を開けます。

中央のプーリーの面から約250mm～280mm程度の位置に、モーター線の配線用の穴を開けます。

この際、穴あけ用ガイドは少し緩めて、移動してください。

※配線用の穴は貫通穴ではなく、シャフトの手前側のみ開けてください。

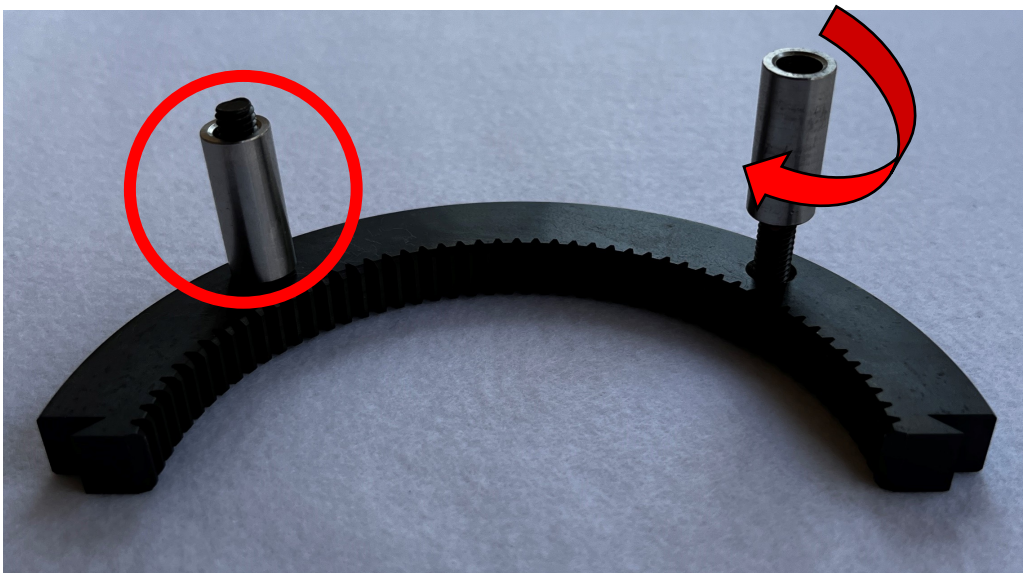


手順6：貫通穴および、モーター配線用の穴開けが完了したら、穴あけガイドを取り外してください。

開けた穴は部品番号：21（サンドペーパー）を使用して、削ったバリ取りを行ってください。

サンドペーパーは筒状に丸めていただき、穴に差し込んで使用してください。

手順7：作成した穴あけ用ガイドを全て分解して、内歯ギアから取り外したスペーサー（24mm）を内歯ギアに戻してください。



4-4. シャフトへのモーター取付け

手順1：部品番号：4（モーター固定側ブラケット）に、15（ボルト）・1（モーター）を取付けていきます。

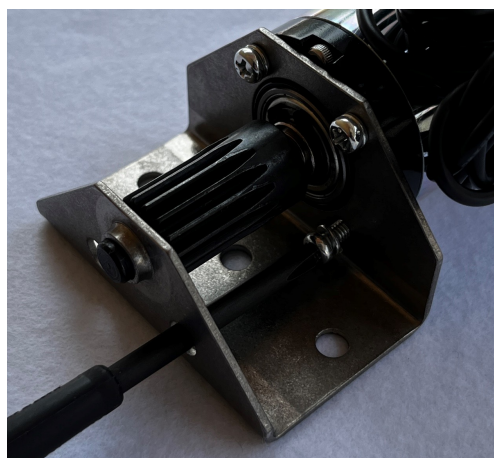
モーターを取付けると、貫通穴用のボルトを取付けることが出来なくなるためモーターを取付けていただく前に、あらかじめブラケットの中央の穴に部品番号：15（ボルト）を取り付けてください。

ボルトを取付けていただいたら、下図のようにモーターをブラケットに部品番号：18（なべネジ）を使用して取り付けてください。

※ネジは真っすぐに差し込んでください。

※1か所のみを締め付けるのではなく、対角線上に4か所均等に締め付けてください。

※スプリングワッシャーが潰れるまで締め付けてください。



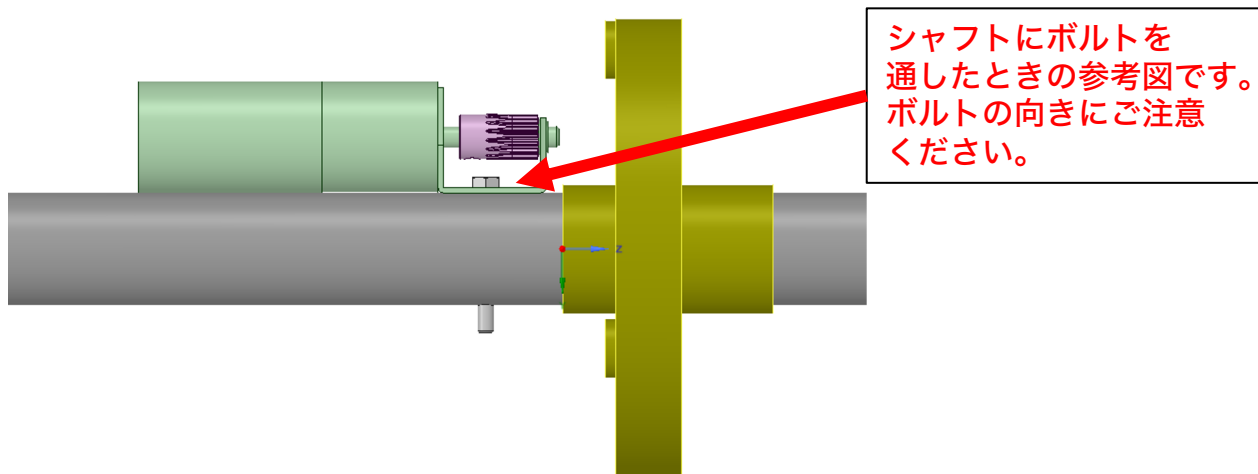
手順2：下図のように、手順1で組み立てたモーター固定側ブラケットの部品番号：15（ボルト）をシャフトに開けた貫通穴に差し込みます。



手順3：手順2でモーター固定側ブラケットを取付けていただいたら、下図のような状態になります。

問題なく取付けが行えたら、部品番号：14（ボルト）2本をモーター固定側ブラケットの左右の穴にそれぞれ上側から差し込んでください。

※部品番号：15および16のボルトではございませんのでご注意ください。



手順4：部品番号：4（ピニオンギア側ブラケット）と13（スペーサー）を取付けます。

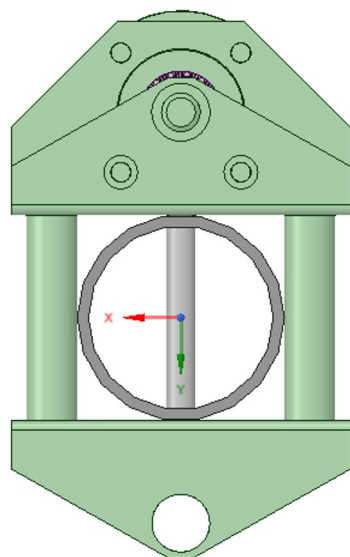
手順3で取り付けていただいた部品番号：14（ボルト）にスペーサーを取り付けてからピニオンギア側ブラケットを取付けます。

ブラケットを取付けていただいたら、部品番号：17（ナット）で3か所のボルトを固定してください。

固定していただいた後に、モーター部を軽く手で揺らしていただき、動かないことを確認してください。

※締め付けを行われる際、強く締めつけ過ぎるとシャフトが変形して動作不良の原因となりますので、締めすぎにはご注意ください。

※M6ボルトの標準締め付けトルクは5.2（N・m）です。



4-5. 内歯ギア・支持プレート・ピニオンギアの取付け

手順1：「4-2. 貫通穴の位置決め」の手順と同様に内歯ギア・支持プレート・ピニオンギアを取付けてください。

最終取り付けのため、それぞれの部材にがたつきがないようにしっかりと締め付けてください。
この際、再度内歯ギアとブラケットの隙間が2mm程度になっているか、シャフトに対してガレージKITが中心および水平垂直に取り付けられているかしっかりと確認してください。



手順2：駆動部の全ての部材が問題なく取付けられていることを確認していただけたらガレージKIT取り付けの為に外したプーリーカバーを元に戻してください。

ここまでで、駆動部の取付けは完了です。

※プーリーカバーがシャッターの重みで元の位置よりずれている場合がございます。
その際は、シャッター本体を持ち上げながらプーリーカバーを固定してください。



5. モーター線の通し方

手順1：モーター線をシャフト内に通します。

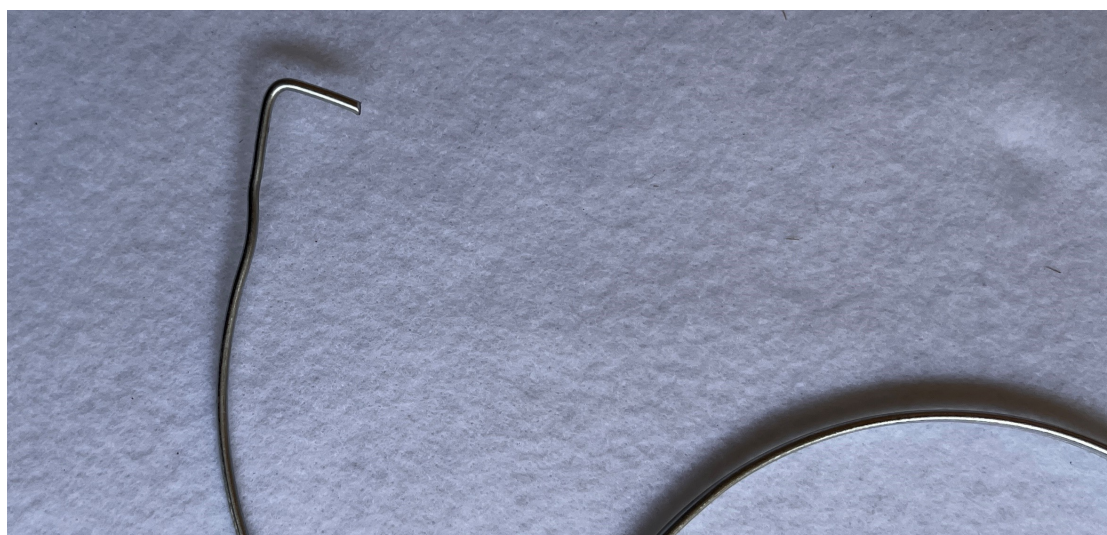
モーター線と部品番号：20（針金）をビニールテープ等で抜けないようにしっかりと固定します。

モーター線と針金を固定する箇所は、5cm程度あれば問題ございません。

また、ビニールテープ等を巻きつけ過ぎて厚くしてしまうと、シャフトに開けた穴に通らなくなってしまいますので、ご注意ください。



手順2：針金の先端を1cm程度曲げていただくと、シャフトから配線を引き出すときに引っ掛かりやすくなります。



手順3：下図の赤丸で図示している、モーター線を通すために開けたシャフトの穴に針金を通していき、針金の先端をシャフトの端部まで通線します。
針金は、シャフトの左右どちらから取り出していただいても問題ございません。



手順4：シャフトの端部まで針金を通線されたら、端部の隙間から針金を引き出してください。
引き出される際に強く引っ張られると、モーター線と針金の固定が外れてしまったりモーター線を傷つけて断線やショートの原因となってしまうので、ゆっくりと様子を確認しながら引き出すようご注意ください。

通線する際に、シャフトの端部まで上手く針金が届かない場合は、シャフトを固定しているボルトを一時的に取り外し、障害物を減らした状態で通線してください。

※ボルトを外すのはモーター線を取り出す側の端部のみにしてください。

シャフトを固定している左右のボルトを同時に外すと、巻き取りバネが強力に巻き取られ、非常に危険ですので絶対に左右のボルトを同時に外さないでください。
※ボルトを取り外した場合は、必ず元の状態に戻してから、先に進んでください。



手順5：モーター線を上手く引き出せたら、シャッター本体と接触しないようモーター線の保護を行ってください。

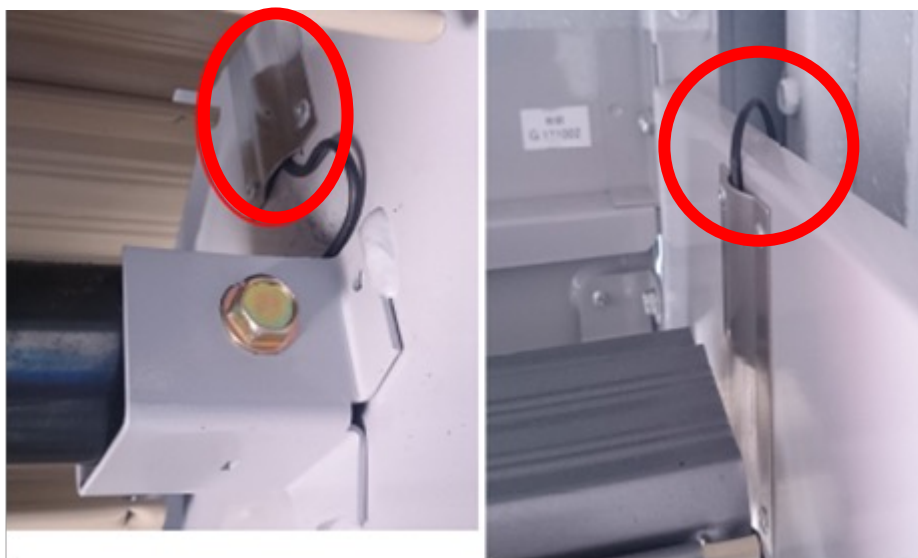
下図の赤丸で図示しているようにシャッターボックスにガードプレートがある場合はガードプレートの際間を通して上側に引き出していただくと、保護しやすいです。ガードプレート等がない場合は、部品番号：22（ステンレステープ）を使用してモーター線が動かないよう固定してください。

ここまでで、モーター線の通線は完了です。

※下図の方法は参考として紹介させていただいております。

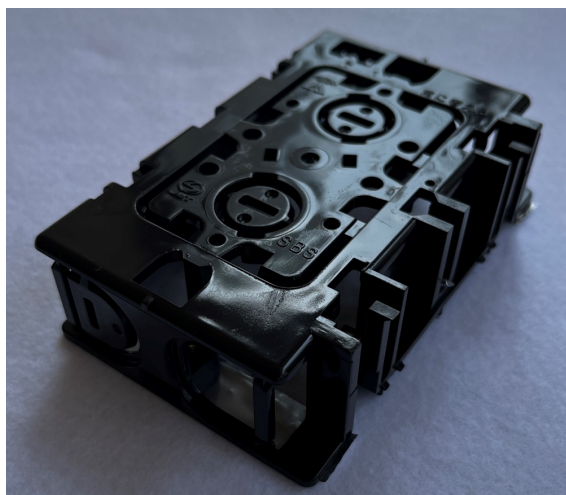
引き出す方法や方向は、お客様のシャッター状況によって異なりますのでそれぞれ適した方法でご対応いただけますようお願いいたします。

※モーター線の固定が完了したら、シャッター動作時にモーター線がスラット等に巻き込まれたり、擦れたりしないかご確認ください。

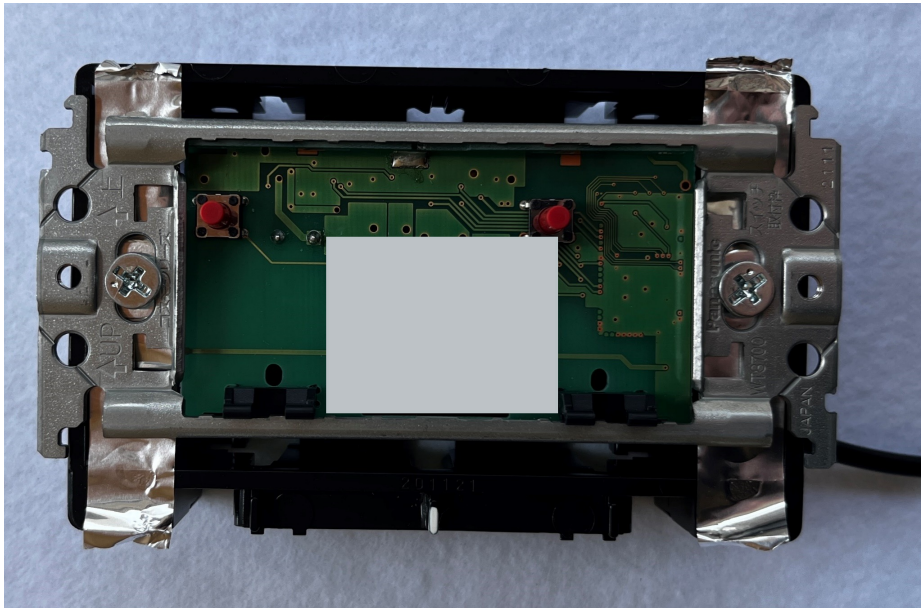


6. スイッチボックスの組み立て方

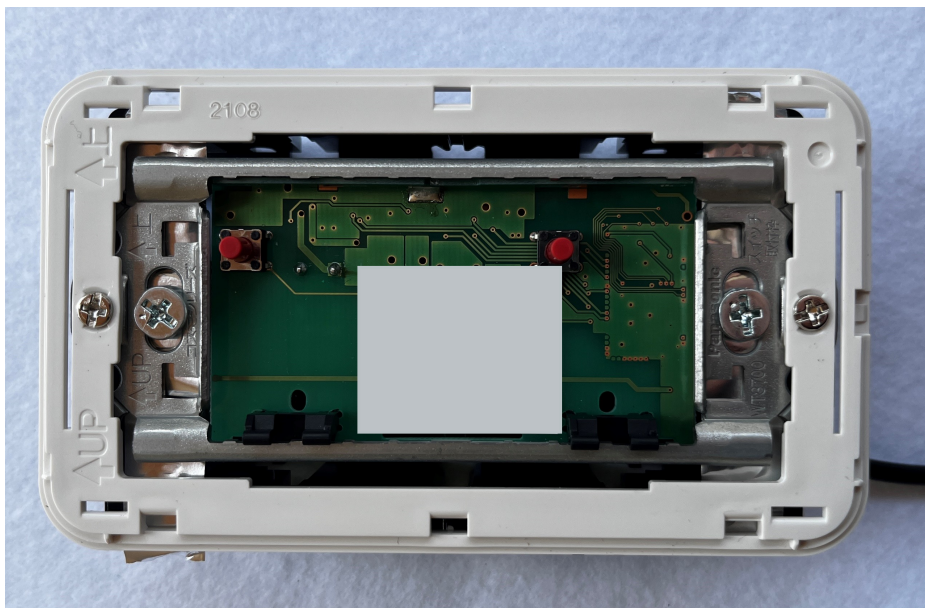
手順1：部品番号：25（スイッチボックス）には、ケーブルを通すための穴が開いています。モーター線及びDCケーブルを通す場所をあらかじめ確認してください。



手順2：部品番号：26（操作基板）をスイッチボックスにネジで固定します。
ネジはスイッチボックス本体に取り付けてあります。
操作基板には向きを表す「UP」と書かれた矢印が刻印されています。
その矢印の向きに従って、操作基板を固定してください。



手順3：部品番号：23（スイッチプレート）を操作基板にネジで固定します。
スイッチプレートには向きを表す「UP」と書かれた矢印が刻印されています。
手順2で取付けた操作基板と同じ向きになるように固定してください。



手順4：部品番号：24（スイッチハンドル）を取付けます。

スイッチハンドルはしっかりと奥まで取り付けていただき
問題なく操作が行えるか確認を行ってください。



手順5：最後に、スイッチプレートのカバーを取付けます。

ここまでで、スイッチボックスの組立は完了です。



＜参考＞

スイッチ関連の品番

パナソニック社製

- ・コスモシリーズワイド21 埋込スイッチハンドル 型番：WT3002W
- ・コスモシリーズワイド21 スwitchプレート 1連用 型番：WTC7101W

7. モーター線と操作基板の接続方法

手順1：スイッチボックスのおおよその取付け位置が決まりましたら

モーター線の長さを調整してください。

一度切断されると復旧するのが難しくなるため、スイッチボックスの取付け位置に対してある程度余裕のある長さを残して切断してください。

手順2：モーター線の先の被膜を1cm程度剥いてください。

内側の白いケーブルの被膜は5mm程度剥いてください。

シールド線は指でねじってある程度まとめてください。

この際、シールド線が細いため力を入れてねじられるとシールド線が断線してしまいますのでご注意ください。



手順3：下図の赤丸で図示している、操作基板のモーターターミナルにモーター線を接続します。

※モーターターミナルは必ず0番のドライバーを使用してネジを操作してください。

※モーターターミナルのネジを緩めていただいても、ターミナル内のバネ板が一緒に上がっていない場合がございます。

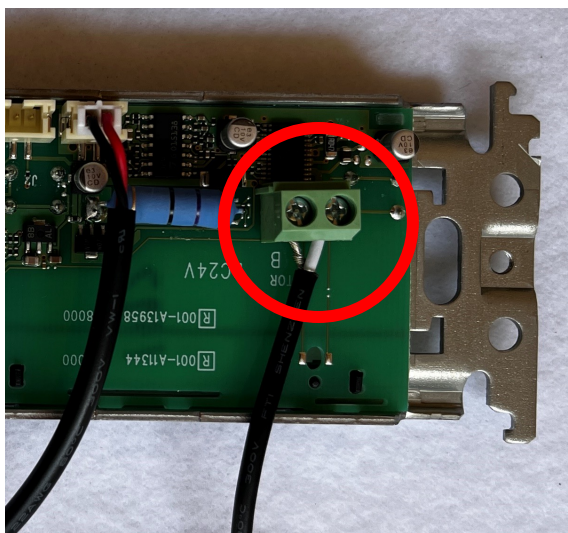
その際は、マイナスドライバー等でバネ板を上を持ち上げてください。

※シールド線どうしが接触するとショートしてしまいますので

白いケーブルのシールド線がモーターターミナルからはみ出さないように

モーター線は奥までしっかりと差し込んで固定をしてください。

※下図の接続方法は参考画像です、実際の接続方法は次ページの内容をご確認ください。



＜注意＞ガレージKITのセンタープーリーへの取付け位置によりモーター線の接続方法が異なります。
詳細は下表を確認ください。

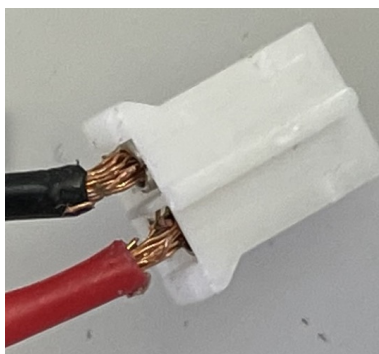
センタープーリーに対してガレージKITの取付け位置	
センタープーリーの左側	センタープーリーの右側
A印字側：シールド線 B印字側：内側の白いケーブル	A印字側：内側の白いケーブル B印字側：シールド線

上表を参照しながら、実際にガレージKITを取付けていただいた位置と照らし合わせていただき
操作基板へのモーター線の接続方法をご確認ください。

※シャッターの操作時に、スイッチが上下逆に動作する場合は
モーター線の接続をA印字側とB印字側で入れ替えてください。

＜注意＞

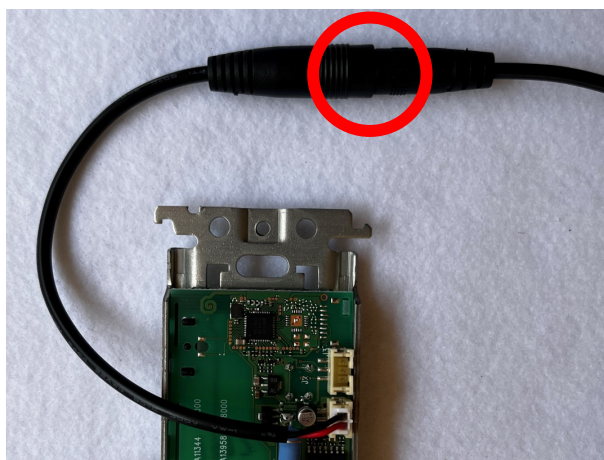
操作基板に取付けてあるDCケーブルは強く引っ張らないでください。
コネクタから配線が抜けて、ショートしてしまい操作基板の破損に繋がります。
操作基板に取付けてあるDCケーブルのコネクタが下図の状態になった場合は
有償での修理対応となりますので、ご注意ください。



手順4：操作基板にAC/DCアダプターのコネクタを接続してください。

ここまでで、モーター線と基板の接続方法は完了です。

※AC/DCアダプターをコンセントに接続した状況で、操作基板のDCケーブルと接続されると
ショートする恐れがありますので必ず操作基板のDCケーブルと先に接続を行ってから
AC/DCアダプターをコンセントに接続してください。



8. スイッチボックスの設置

手順1：スイッチボックスはお好みの場所に設置してください。

ここまでで、ガレージKITの取付け作業は完了です。

スマートフォンのSmart Garageアプリを使用して、シャッターの初期設定を必ず行ってください。

Smart Garageアプリの操作説明書および設定手順動画は下図QRコードからご確認ください。



9. スイッチボックスの操作説明

手順1：スイッチボックスの上側のボタンを押すとシャッターが上がります。

上端に達すると自動的に止まります。

スイッチボックスの下側のボタンを押すとシャッターが下がります。

下端に達すると自動的に止まります。

動作中は、上側または下側どちらのスイッチを押しても動作が停止します。

※短い間隔で連続した動作を行うと、上手く動作を行えなくなる場合があります。

動作間の間隔をある程度開けて、動作をしていただけますようお願いいたします。

※上記動作はSmart Garageアプリでの初期設定を行った状態での動作となります。

ガレージKIT取付け後は必ずアプリを使用した初期設定を行ってください。

<注意>

初期設定を行っていない状態で操作をされると、シャッターの負荷等により上手く動作が行えない、または動作不良につながる場合がございます。

必ずSmart Garageアプリでの初期設定を行ってください。

Bluetooth仕様	
標準	Bluetooth Low Energy対応
チップセット	Nordic Semiconductor Bluetooth Low Energy and 2.4GHz proprietary SoC
ラジオ周波数	2,402MHz～2,480MHz
送信機電源	Class 2 (max 4 dBm)
レシーバー感度	-93dBm
動作温度	-20℃～60℃
基板サイズ	72mm×41mm

AC/DCアダプター仕様	
入力電圧	交流100～240 V 50～60Hz Max1.5 A
出力電圧	直流24 V Max2,700mA
サイズ	W54.5mm× D 32mm× H 120mm
重量	0.225Kg



- ・本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。
本文中では、TM、(R)マーク等は明記していません。
- ・Apple、Appleロゴ、Safari は、米国及び他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・iPad、iPhone は、Apple Inc. の登録商標です。
- ・iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- ・App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・Google、Android、Google Play、Google Play のロゴ、YouTube、YouTube のロゴは、Google Inc. の商標です。
- ・Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社システムデザインはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他の商標及びトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

保証規定

1. お客様の正常なご使用状態で、保証期間中（お買い上げ日より1年間）に故障した場合は無料修理させていただきますので、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - ・ ご使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - ・ お買い上げ後の移動、落下による損傷
 - ・ 火災・天災などによる故障および損傷

〇お問合せは、下記URLの「お問い合わせ」内の専用フォームからも受付けています。

<https://sysdes.jp>

製造元



株式会社システムデザイン

〒918-8104 福井県福井市板垣3丁目1805